

## 平成25年度と令和4年度の空家等の状況把握に関する 自治会アンケートの比較結果について

◆平成25年度	◆令和4年度	比較
・送付数 266通	・送付数 267通	・+ 1
・回収数 231通	・回収数 218通	・- 13
・回収率 86.8%	・回収率 81.6%	・- 5.2%

【設問3】(3-1) 貴団体内に空き家がありますか。

	【平成25年度】	【令和4年度】
・「はい」と回答した団体	166件(72%)	142件(65%)
・「把握していない」と回答	42件(18%)	24件(11%)
・「いいえ」と回答	22件(10%)	25件(11%)
・無回答	1件(0%)	27件(12%)

(令和4年度の無回答が27件(12%)あるが、これは設問2で「いいえ」と回答した団体であると考えられる。)

(3-2) (3-1)で「はい」と回答した場合は、貴団体内に存在する空き家の軒数についておおよその数を( )内にご記入ください。(最大軒数)

	【平成25年度】	【令和4年度】
・佐倉地区(佐倉・内郷)	198軒(21%)	238軒(24%)
・南部地区(根郷・和田・弥富)	130軒(13%)	140軒(14%)
・志津地区(志津・ユーカーリ)	430軒(45%)	337軒(35%)
・臼井地区(臼井・千代田)	203軒(21%)	262軒(27%)
合 計	961軒	977軒

空き家の軒数は全体では16軒と微増となっている。地区別には、佐倉地区・南部地区臼井地区の空家は微増だが、志津地区の空家が大幅に減少している。

(3-5) 具体的な苦情の内容を以下の中から選択してください。(複数回答可)

	【平成25年度】	【令和4年度】
①空き家の庭の手入れ不足	60件(26%)	52件(24%)
②空き家へのごみの放置	17件(7%)	13件(6%)
③周辺景観の悪化	31件(13%)	22件(10%)
④火災の不安・発生	39件(17%)	27件(12%)
⑤防犯面での不安	34件(15%)	18件(8%)

## 資料 4

⑥老朽化による倒壊の危険	24件 (10%)	30件 (14%)
⑦危険生物等の出入りや営巣		27件 (12%)
⑧その他	9件 (4%)	10件 (5%)
合 計	214件	199件

苦情の件数は全体では15件と微減となっている。⑥老朽化による倒壊の危険、⑦危険生物等の出入りや営巣等の件数が増えている。

### (4-2) 空き家に対して実施している取組内容

	【平成25年度】	【令和4年度】
①家屋所有者との連絡	34件 (15%)	24件 (11%)
②敷地内の手入れ	18件 (8%)	12件 (6%)
③空家の紹介・あっせん	2件 (1%)	0件 (0%)
④その他	16件 (7%)	15件 (7%)
合 計	70件	51件

各年度とも、①家屋所有者との連絡、②敷地内の手入れの順となっている。また、令和4年度の方が取り組み件数が減少している。

### (設問5) 空き家の活用の相談会や勉強会の開催を希望する団体【令和4年度】

	①希望する	②希望しない	③その他
・佐倉地区 (佐倉・内郷)	11件 (5%)	36件 (17%)	10件
・南部地区 (根郷・和田・弥富)	7件 (3%)	26件 (12%)	6件
・志津地区 (志津・ユーカーリ)	9件 (4%)	53件 (24%)	13件
・臼井地区 (臼井・千代田)	5件 (2%)	25件 (11%)	10件
合 計	32件 (14%)	140件 (64%)	39件